

(仮訳)

日米韓外相三か国会合 共同声明
2022年2月12日

アントニー・ブリンケン米国国務長官、林芳正日本国外務大臣及び鄭義溶（チョン・ウィヨン）韓国外交部長官は、本日、ハワイ州ホノルルにおいて会談を行い、最も差し迫った21世紀の課題に対応することを我々が追求する中で、力強い日米韓三か国協力が極めて重要であることを再確認した。米韓同盟及び日米同盟は、数十年間に及ぶものであり、我々の長きにわたる友情及び共有された価値は、繁栄し、安全な将来を実現するための我々の取組において、我々を導いている。

21世紀は、新しくこれまで経験のない課題のみならず、我々三か国が共に協力するための大いなる機会をもたらしてきた。閣僚は、我々が益々複雑化する世界で舵取りをする際に三か国の協力が重要であることを強調しつつ、地域及び世界の安全及び経済の幅広い優先課題における協力及び連携を拡大することにコミットした。

閣僚は、三か国が、包摂的である、自由で開かれたインド太平洋という共通の認識を有していることを強調し、ルールに基づく国際秩序への尊重を共有するとともに、三か国間の協力関係を一層拡大することを約束した。林大臣及び鄭長官は、米国が新たに発表した「インド太平洋戦略」を歓迎した。

閣僚は、北朝鮮による最近の弾道ミサイルの発射を非難し、これらの行動が不安定を生じさせることについて深刻な懸念を表明した。閣僚は、完全な非核化及び朝鮮半島の恒久的な平和の実現のための緊密な三か国協力にコミットした。閣僚は、北朝鮮に関連する国連安保理決議の完全な履行を国際社会に求めるとともに、北朝鮮に対して、不法活動を止め、代わりに対話に関与するよう求めた。閣僚は、北朝鮮に対して敵対的な意図を有していないことを強調するとともに、前提条件なしで北朝鮮と会うことに引き続きオープンであることを強調した。閣僚は、日米同盟及び米韓同盟が地域の平和と安定の維持にとって不可欠であることを再確認した。この文脈で、閣僚は、三か国の安全保障協力を進めることにコミットした。閣僚は、各国の北朝鮮担当特別代表の間の頻繁な三者間協議を評価した。閣僚は、朝鮮半島の南北離散家族の再会及び拉致問題の迅速な解決の重要性について議論した。

閣僚は、ウクライナとの国境沿いにおけるロシアによる軍事増強について議論するとともに、ウクライナの主権及び領土の一体性に対する揺るぎない支持を共有した。閣僚は、ロシアによる更なるエスカレーションを抑止するために共に緊密に取り組むことにコミットした。

閣僚は、ルールに基づく国際秩序を損なう活動についての共有された懸念に留意しつつ、全ての国が自らの潜在能力を発揮できるような平和で安定した地域を切望することを再確認した。閣僚は、この地域において現状変更を試み、緊張を高めるいかなる一方的な行動にも強く反対することを表明した。閣僚は、国連海洋法条約に反映された国際法を遵守することの重要性を特に強調しつつ、各国の政府による

国際法への長きにわたる支持を改めて表明した。閣僚は、台湾海峡の平和と安定の重要性を強調した。閣僚は、現在カンボジアが議長を務めるASEANの一体性及び中心性並びにミャンマーにおける危機の解決に向けたASEANの取組への支持を再確認した。閣僚はまた、ミャンマーの人々に対するミャンマー「政権」による暴力を非難し、あらゆる暴力の即時停止、恣意的に拘束された人々の解放及び包摂的な民主主義の道への速やかな復帰に向けた取組を強化することにコミットした。

閣僚は、ルールに基づく経済秩序を強化し、インド太平洋地域及び世界における繁栄を確保するための三か国協力の重要性を強調した。閣僚は、気候危機、重要サプライチェーン、ジェンダー平等及びエンパワーメント、開発金融、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを終わらせ、次のものを防ぐための取組を含む世界健康安全保障を始めとする優先課題に取り組むための共通の方策について議論した。閣僚は、情報セキュリティ及びサイバーセキュリティの強化、また、民主的な価値及び普遍的人権の尊重に基づく重要・新興技術のイノベーションの促進を含む経済安全保障の向上のために連携していくことの重要性を強調した。

閣僚は、我々が共有する価値及び地域の平和、安定及び繁栄への切望に裏打ちされた日米韓三か国協力へのコミットメントを再確認し、定期的に三か国の閣僚級会合を継続することを約束した。